
教職履修カルテ

平成24年度入学者用

教職履修カルテについて

「教職実践演習」と「教職履修カルテ」

「教職実践演習」は、教職課程履修の総括科目として4年次後期に必修科目として配置される。当該授業は教員養成段階で修得すべき教員として必要な知識技能・資質能力が、どのように獲得できたのかを確認し、補完するためのものである。

「教職履修カルテ」は、教職志望者自身によってなされる1～3年次にわたる教職課程の履修状況等の記録であり、「教職実践演習」において知識技能・資質能力を把握するための教材として用いられる。

「教職実践演習」の履修にあたっては、その履修前までに「教職履修カルテ」が完全に記入済みであることが前提となることから、各自で「教職履修カルテ」の該当ページを確認し、1年次から着実に必要な事項を記入するとともに、自己点検・自己評価をすること。

また、各ページについては、次ページ以降の「記入上の注意3・4」を熟読のうえ、各自の責任のもと、漏れ等の無いように記入すること。

「教職実践演習」の概要

「教職実践演習」は、教員養成大学が各教職課程履修者について「教員として必要な知識技能・資質能力」の獲得の成否を、養成大学の責任において確認し評価する役割を担うものであり、そこで要求される「必要な水準」は、教員養成に現在期待されている水準を考えた場合、相当高いことを認識しておくこと。

「教職履修カルテ」の活用方法

主な活用目的は4年次後期に履修する「教職実践演習」の受講に際してであるが、1～3年次の各年次においても教職関係の授業で提出を求められたり、教職課程研究室での指導の中で、「教職履修カルテ」の記入内容について確認されることがある。

教職課程の履修計画にあたっては、各自が「履修要綱」に従い、自己責任において履修すること。

「教職履修カルテ」の保管

「教職履修カルテ」は履修登録時に教職課程を選択している学生に対して、ホームページからPDFデータで配付され、本学在学中に教職課程を履修する上で使用するが、本学を卒業後に他大学等で教職課程を履修する場合には、その大学等から提出を求められることがある。「教職履修カルテ」は各自が教育職員免許状を取得するまで大切に保管すること。

記入上の注意

全般的な注意事項

記入方法について

ホームページから配付された「教職履修カルテ（PDFデータ）」を印刷後、記入には「黒ボールペン」を使用し、楷書体で丁寧に記入すること（下書きをしてから清書することが望ましい）、訂正がある場合には、修正液または修正テープを使用してよい。

「本書の構成」及び各ページの記入時期

各ページの記入時期を以下に示す。

頁	項目	記入時期
5	教職ガイダンス等日程メモ	記入の時期は適宜とする。
6	プロフィール	本書印刷後、直に記入する。
	取得希望免許状	各学年に進級する毎に記入する。
	学歴	本書印刷後、直に記入する。
7	教職課程における自己評価 （1年次）	1年次年度末に当該年度の成績が確定してから記入する
8	教職課程における自己評価 （2年次）	2年次年度末に当該年度の成績が確定してから記入する
9	教職課程における自己評価 （3年次）	3年次年度末に当該年度の成績が確定してから記入する
10	教職課程における自己評価 （4年次）	4年次年度末に当該年度の成績が確定してから記入する
11	介護等体験における自己評価	特別支援学校・社会福祉施設のそれぞれ介護等体験の終了後に記入する。
12	教育実習における自己評価	教育実習の終了後に記入する。
13	学校ボランティアにおける自己評価	学校ボランティアを行った毎に記入する。
14	課外活動における自己評価 （部会・サークル等）	記入の時期は適宜とする。
17 ～ 23	教職に関する科目（詳細な記入方法等については15・16ページを参照すること。）	1～3年次：年度末に当該年度の成績が確定してから記入する。 4年次前期：9月に前期科目の成績が確定してから記入する。
24 ・ 25	教科に関する科目（詳細な記入方法等については24ページを参照すること。）	4年次後期・通年：当該年度の履修登録後に履修中の科目について記入する。

「教職実践演習」受講時の「教職履修カルテ」(本書)提出について

4年次後期に「教職実践演習」を受講する際の「教職履修カルテ」の提出方法は、1回目の授業時での指示に従うこと。

記入上の質問等について

「教職履修カルテ」の具体的な記入方法については、本書の「記入上の注意」を熟読し、各自の責任のもとで記入すること。

記入上の質問等がある場合には、教職課程研究室に相談すること。

その他の注意事項

「教職履修カルテ」は履修登録時に教職課程を選択した学年においてのみ、ホームページからPDFデータで配付し、再交付しない。免許状を取得するまでは、紛失しないこと。また、破損・汚損のないようにすること。

教職ガイダンス等日程メモ（「記入上の注意」3ページ参照）

1 年 次	開催日	開始時間	教室	概要
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
2 年 次	開催日	開始時間	教室	概要
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
3 年 次	開催日	開始時間	教室	概要
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
4 年 次	開催日	開始時間	教室	概要
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		
	/ ()	: ~		

※掲示板等で確認したガイダンス日程を個人で管理するために使用してください。

※年次ごとに用意された記入欄の数と、開催されるガイダンスの回数とは関係ありません。

教職履修カルテ ～共通事項～

プロフィール（「記入上の注意」 3 ページ参照）

写真貼付 半身脱帽 (3 cm×4 cm m)	フリガナ				
	氏 名				
	生年月日	昭・平	年	月	日生
	性 別	男・女			
	学籍番号				
	所 属	学部		学科	

取得希望免許状（校種、教科をそれぞれ記入すること）（「記入上の注意」 3 ページ参照）

1 年次	
2 年次	
3 年次	
4 年次	

学歴（「記入上の注意」 3 ページ参照）

昭・平	年	月	立				小学校	卒業
昭・平	年	月	立				中学校	卒業
昭・平	年	月	立				高等学校	卒業
昭・平	年	月	立					
昭・平	年	月						
昭・平	年	月						
昭・平	年	月						
昭・平	年	月						
昭・平	年	月						
昭・平	年	月						
昭・平	年	月						

※本教職履修カルテは、教職関係ガイダンス出席の際は必ず持参すること

教職履修カルテ ～共通事項～

【教職課程における自己評価(4年次)】(「記入上の注意」3ページ参照)

4年次の自己評価	教職に対する意識* 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1
<p>◆一年間の授業をふり返っての自己評価(「教科に関する科目」、「教職に関する科目」に分けて記入する)</p> <p>【教職に関する科目】</p> <p>【教科に関する科目】</p> <p>◆特に知識や技能について不足している点(具体的に記す)</p> <p style="text-align: right;">記入日：平成 年 月 日</p>	

*教職に対する意識は該当する数字に○をする。なお、5～1の評価段階は下記の通りとする。

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 【5】高い意識で取り組めた | 【4】意識を持って取り組めた |
| 【3】あまり意識をもてなかった | 【2】ただ科目を履修しただけであった |
| 【1】困難を感じた | |

教職履修カルテ ～共通事項～

【介護等体験における自己評価】（「記入上の注意」3ページ参照）

特別 支援 学校	学校名	体験期間	年	月	日	～	年	月	日
	◆介護等体験の概要								
◆介護等体験を通して学んだこと									
記入日：平成 年 月 日									

社会 福祉 施設	施設名	体験期間	年	月	日	～	年	月	日
	◆介護等体験の概要								
◆介護等体験を通して学んだこと									
記入日：平成 年 月 日									

教職履修カルテ ～共通事項～

【教育実習における自己評価】（「記入上の注意」 3 ページ参照）

実習校名		実習期間	年 月 日～ 年 月 日
「教育実習IA」 担当教員		「教育実習IB」 担当教員	
<p>◆教育実習を通して学んだこと（「学習指導」、「学級経営」に分けて記入する）</p> <p>【学習指導】</p> <p>【学級経営・生徒指導】</p> <p>◆教員として必要な知識技能において不足していると感じた点</p> <p style="text-align: right;">記入日：平成 年 月 日</p>			

教職履修カルテ ～共通事項～

【学校ボランティアにおける自己評価】（「記入上の注意」 3 ページ参照）

体験校名	体験期間	年 月 日～年 月 日
◆学校ボランティアの概要		
◆教職の視点から学校ボランティアを通して学んだことや感想		
記入日： 年 月 日		

体験校名	体験期間	年 月 日～年 月 日
◆学校ボランティアの概要		
◆教職の視点から学校ボランティアを通して学んだことや感想		
記入日： 年 月 日		

体験校名	体験期間	年 月 日～年 月 日
◆学校ボランティアの概要		
◆教職の視点から学校ボランティアを通して学んだことや感想		
記入日： 年 月 日		

教職履修カルテ ～共通事項～

【課外活動における自己評価(部会・サークル等)】(「記入上の注意」3ページ参照)

部会・サークル等	名称	
◆課外活動の概要		
◆教職の視点から課外活動を通して学んだこと		
記入日： 年 月 日		

部会・サークル等	名称	
◆課外活動の概要		
◆教職の視点から課外活動を通して学んだこと		
記入日： 年 月 日		

部会・サークル等	名称	
◆課外活動の概要		
◆教職の視点から課外活動を通して学んだこと		
記入日： 年 月 日		

教職履修カルテ ～教職に関する科目～

＜記入の方法と事例＞

【教職に関する科目の記入について】（「記入上の注意」 3 ページ参照）

科 目 名	教職論	担 当 教 員	高橋 大助
修 得 年 次	1 年 次	必 修 区 分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課 題】			
		達 成 度	成 績 評 価
		3	A

- ① 科 目 名：必修科目（教科教育法及び教育実習は除く）については既に印字されています。教科教育法・選択科目については自身で記入すること。教育実習については共通事項（12ページ）で記入すること。
- ② 担 当 教 員：当該科目の講義を担当した教員名を記入すること。
- ③ 修 得 年 次：当該科目の講義を修得した年次を記入すること。
- ④ 講義のねらい：シラバスの授業の目的等を基に、講義への取組み方やこの授業を通しての自身への課題を明確に記入すること。
- ⑤ 自己評価・課題：授業全体を振り返っての自己評価を記入すること（「自己評価シート記入上の指標」及び「教職を目指すうえで課題と考えている事項」16ページ参照）。また、この授業で得たものや、今後の課題を明確に記入すること。
- ⑥ 達 成 度：「講義のねらい」として定めた目標に対しての達成度を以下の評価基準で記入すること。

【4】 目標以上の成果があった	【2】 一部達成できた
【3】 達成できた	【1】 課題が多く残った
- ⑦ 成 績 評 価：担当教員による成績評価を記入すること。

自己評価シート記入上の指標

科目名	項目	求められる資質能力の指標
教職論	教職の意義及び教員の役割職務内容（含む研修・服務・身分保障）	専門職としての社会的意義と役割の理解、職務内容の理解
教育の原理	教育の理念・歴史・思想	教育の理念、歴史、思想についての基礎的知識と理論の習得
発達と学習	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（含む障害児）	生徒理解のために必要な心理・発達論的な基礎知識と理論の習得
教育と社会	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	学校教育に関する社会学的、制度論又は経営学的理解と知識の習得
道徳教育の理論と方法	道徳の指導法	道徳教育の内容及び指導法に関する知識と基礎理論の理解
特別活動の理論と方法	特別活動の指導法	特別活動の内容及び指導法に関する知識と基礎理論の理解
生徒指導	生徒指導の理論及び方法	学習集団形成及び学級経営に必要な知識と基礎理論の習得、生徒の特性や状況（いじめ、不登校、特別支援等）に応じた多様な指導方法の理解
教育相談	教育相談（カウンセリングに関する基礎的知識を含む）	教育相談に関する基礎的知識（臨床心理、カウンセリングなど）と理解
教科教育法（開設されているすべての教科を含む）	教育課程の意義及び編成の方法、教科の指導法、教育の方法と技術（含む情報機器と教材の活用）	教科教育分野の科目内容の理解、教科書・学習指導要領の内容理解、教材分析及び開発（教材研究）の能力、学習指導案の作成及び模擬授業を行う能力、授業に必要な基本技術（発問・板書・対話法等）の習得、情報教育機器の活用に関わる知識・技能の習得

教職を目指すうえで課題と考えている事項

今日の教育と青少年をめぐる諸問題への関心と意見、ならびに自分自身の課題を記すこと。

教職履修カルテ ～教職に関する科目～

科目名	教職論	担当教員	
修得年次	年次	必修区分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
			達成度
			成績評価

科目名	教育の原理	担当教員	
修得年次	年次	必修区分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
			達成度
			成績評価

教職履修カルテ ～教職に関する科目～

科目名	教育と社会	担当教員	
修得年次	年次	必修区分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
		達成度	成績評価

科目名	発達と学習	担当教員	
修得年次	年次	必修区分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
		達成度	成績評価

教職履修カルテ ～教職に関する科目～

科 目 名	道徳教育の理論と方法	担 当 教 員	
修 得 年 次	年 次	必 修 区 分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題： 【自己評価】 【課 題】			
		達 成 度	成 績 評 価

科 目 名	特別活動の理論と方法	担 当 教 員	
修 得 年 次	年 次	必 修 区 分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題： 【自己評価】 【課 題】			
		達 成 度	成 績 評 価

教職履修カルテ ～教職に関する科目～

科 目 名	生徒指導	担 当 教 員	
修 得 年 次	年 次	必 修 区 分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題： 【自己評価】 【課 題】			
		達 成 度	成 績 評 価

科 目 名	教育相談	担 当 教 員	
修 得 年 次	年 次	必 修 区 分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題： 【自己評価】 【課 題】			
		達 成 度	成 績 評 価

教職履修カルテ ～教職に関する科目～

科目名	教職実践演習	担当教員	
修得年次	年次	必修区分	必修
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
		達成度	成績評価

科目名		担当教員	
修得年次	年次	必修区分	
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
		達成度	成績評価

教職履修カルテ ～教職に関する科目～

科目名		担当教員	
修得年次	年次	必修区分	
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
		達成度	成績評価

科目名		担当教員	
修得年次	年次	必修区分	
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
		達成度	成績評価

教職履修カルテ ～教職に関する科目～

科目名		担当教員	
修得年次	年次	必修区分	
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
		達成度	成績評価

科目名		担当教員	
修得年次	年次	必修区分	
講義のねらい：			
自己評価・課題：			
【自己評価】			
【課題】			
		達成度	成績評価

教職履修カルテ ～教科に関する科目～

対象教科	科目名	成績評価	修得年次	担当教員	自己評価
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1
					4・3・2・1